

2020年6月9日

立憲民主党 御中
日本共産党 御中
社会民主党 御中

原子力政策の転換を求める政党要請

日々の国政に対する真摯な取り組みに敬意を表します。

さて現在、新型コロナウイルスの感染拡大問題で、国政でもその対応を巡って大きな議論がなされています。一方で原子力政策でも重要な動きが進んでいますが、十分に国会での議論がなされないまま、会期末を迎えようとしています。わたしたちは引き続き今国会や次期臨時国会、各種委員会等の場において重要な原子力課題の議論の一層の深化をはかっていただくために、以下の問題について要請します。

1. 福島第一原発のトリチウム汚染水放出問題について

これ以上環境に余計な放射能の放出をしないという方針の下でトリチウム汚染水の長期保管を追及してください。

2. 六ヶ所再処理工場の建設中止と核燃料サイクル政策の根本的転換について

高速増殖炉開発破綻やプルサーマル計画の行き詰まりなど核燃料サイクル政策はすでに破たんしています。六ヶ所再処理工場の存在意義すらありません。速やかに建設中止と政策転換にむけた国民的議論をはかってください。

3. 関西電力の原発マネー還流問題の追及について

公共料金である電力料金の一部が利権化され、金品となって電力幹部に流れたことは、企業としてのコンプライアンスとガバナンスの崩壊です。関電の第三者委員会の調査と業務改善命令で済ますのではなく、公的機関による実態解明が必要です。

4. 原発の稼働について

原発の稼働40年の原則を順守させ、40年を越える老朽原発の廃炉を求めてください。また首都圏に近い東海第二原発の稼働をさせず、これも廃炉を求めてください。

5. 原発ゼロ基本法案の具体的審議の促進について

現在の国会情勢では厳しいとは思いますが、院内外と協力しながら、審議をはかるよう努力してください。

さようなら原発1000万人アクション実行委員会

千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1階原水禁気付

電話 03-5289-8224

原子力資料情報室

中野区中央2-48-4 小倉ビル1階

電話 03-6821-3211

